

＜京都大学 課題解決型高度医療人材養成プログラム(文科省) 特別共同企画＞

自閉スペクトラム症：精神生理を踏まえた介入

－社会適応に向けた医療支援・リハビリテーション・ケアの手法－

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。＜承認期間:平成29年7月1日～平成34年6月30日 承認番号:W29111＞

期 日：2019年 2月9日(土)・10日(日)

受講対象：教育・医療(心療内科・小児科など精神科近接領域)・心理・産業保健・就労支援・司法・福祉等の機関・現場で精神保健にかかわる方々、研究生・大学院生など興味のある方

定 員：120名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料：10,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

共催：京都大学大学院医学研究科 発達障害支援医学講座

会場：大阪社会福祉指導センター 5階多目的ホール ※詳細地図は受講証に添付いたします
大阪市中央区中寺1丁目1-54
(市営地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線共に「谷町6丁目」下車④番出口から徒歩5分)

講師陣ご紹介

**企画 // 十一 元三 先生：

京都大学大学院医学研究科 教授(人間健康科学系)、神経発達症研究推進機構**

若村 智子 先生：京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系 教授(基礎看護学、生活環境学博士)

村上 純一 先生：医療法人明和会 琵琶湖病院 院長補佐

稲富 宏之 先生：京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系 教授(作業療法士、医学博士)

山田 純栄 先生：京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系 講師(リハビリテーション療法学博士)

義村 さや香 先生：京都大学大学院医学研究科 発達障害支援医学講座(児童精神科医、医学博士)

本講座では自閉スペクトラム症(ASD)を主な対象として年度ごとに臨床的テーマと認知科学的テーマを交互に取り上げてまいりました。昨年度はライフステージごとの多彩な領域における問題について、現場での実践に関する内容をテーマにしましたが、今年度は「睡眠」と「作業療法」に焦点を当て、臨床における実践とその基礎となる知識と知見を取り上げました。近年、不規則な睡眠パターンを始めとする睡眠障害がASDの人に多く認められ、支援の大きな課題となっています。一方、臨床的問題へのアプローチとして、生活行動をもとにした手法である作業療法への注目が高まっています。今年度はこの2つのテーマを中心に企画致しました。なお、好評を頂いている質疑の時間を今回も第1日・2日の両日にわたり設けましたので、日ごろの疑問を少しでも解決する機会にして頂ければと思います。

＜京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系 教授 十一 元三＞

【プログラム】

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
2月9日(土)	12:30~12:50	(事務局事務連絡と課題解決型高度医療人材養成プログラムのアナウンス)	(十一 元三)
	12:50~13:50	睡眠の生理:生体リズムからの健康づくり	若村 智子
	14:00~15:00	発達症と睡眠障害:ASDとADHDを中心に	村上 純一
	15:10~16:10	ASDの併存症と睡眠関連症状:社会生活の土台づくりに向けて	十一 元三
	16:15~16:45	＜第1日目：質疑＞	(第1日目講師)
2月10日(日)	10:00~11:00	精神科リハビリテーション(1):作業療法によるアプローチ	稲富 宏之
	11:00~12:00	精神科リハビリテーション(2):ASDをもつケースへの取組み	山田 純栄
	13:10~14:10	ASDケースにみられる睡眠の問題:児童から成人にかけて	義村 さや香
	14:20~15:00	＜第2日目：講師間討議と質疑＞	全講師

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。